

最終試験実施における準備と課題

DP コーディネーター 北爪 一久

1 要旨

本校における2回目の最終試験の実施に際して、どのような準備を行い、どのような課題が明らかとなったのかを整理し、来年度の最終試験に向けた改善案を述べる。

2 試験監督マニュアルの作成と説明会の実施

初年度に作成した試験監督マニュアルをIB機構が発行した「試験実施要項 2022年版」に基づいて更新し、関係するすべての職員に配付した。試験監督マニュアルは、「試験実施要項 2022年版」の内容において試験監督が理解しなければならない内容を抽出した文書であり、「解答欄なし」「解答欄あり」「解答欄あり+冊子」「選択式」という4種類の試験形態における試験監督の対応を網羅している。(図1を参照)

8月にすべての試験監督を対象とした説明会を実施し、試験監督マニュアルの詳細な内容を再度共有するとともに、9月に実施された「MOCK②」と呼ばれる模擬試験において本マニュアルを活用し、最終試験に近い形態での模擬試験を実現している。

試験形態	試験監督の動き
【解答欄なし】	監督者は本部で試験監督セット(文房具、記録用紙、南無表)を受け取り、試験会場(教室)に向かいます。 試験開始前 ① 試験開始時刻の試験教材(解答用紙(冊子)や資料集等)を受験者机の上に配置してもらいます。 ② 教室内の受験者全員から見える位置に時計が設置されており、正しい時刻を示しています。 ③ 「受験者の注意事項」、「許可されないもの」及び「試験開始時刻」を示す看板が教室内に掲示されており、またそれと「開始時刻」のマークが監督者機の上に置かれています。 ④ 必ず上向きで試験開始時刻の時刻が読み取れるように、また南無表が設置されています。
【解答欄あり】	まだ入室していない受験者がいたら入室させます。 試験開始時 ① 受験者の配置が完了した後に入室し、配布します。 ② 試験開始時刻が近づいたら、試験開始時刻のマークを掲示します。
【解答欄あり+冊子】	【解答欄あり】 ・カバンケース ・解答用紙 ・資料集等
【選択式】	【解答欄あり+冊子】 ・カバンケース ・解答用紙 ・資料集等

図1 試験監督マニュアル

3 試験監督表の作成における留意事項

特に4つの点に留意してMOCK②用および最終試験用の試験監督表をそれぞれ作成し、これらの試験監督表に基づいて無理のない試験監督の配置を実現している。(表1を参照)

1つ目は、MOCK②および最終試験を本校全体に関係する行事と位置づけ、IBコースと直接かかわりのない教職員の協力も得て、試験監督の配置を行うことにより、個々の試験監督への負担を軽減しつつ、より柔軟な監督計画を立案することが可能である。

2つ目は、「巡回試験監督」を廊下に一人配置することによって、最小限の人数による試験監督を可能にすることである。試験時間が2時間を超える場合は、室内の監督と巡回試験監督を適宜交代することにより、個々の試験監督への負担を軽減している。

3つ目は、English B のリスニング試験等の特別な機器の操作を必要とする試験では、可能な限り、MOCK②と最終試験とにおいて同一の試験監督を配置し、操作の習熟度を高めることによって、より安全な試験の実施を可能にすることである。

4つ目は、本部担当者が常に二人以上待機することにより、体調不良による予備の試験会場による受検等の不測の事態に対処することである。

日	午前/午後	着席	開始	終了	科目	時間	部屋	教室監督	巡回監督	
10月27日(木)	午後	13:30	13:40	14:55	日本語ASL Paper 1	1時間15分	R7	A	C	
		13:30	13:40	15:55	日本語AHL Paper 1	2時間15分	PC3	B		
10月28日(金)	午前	08:30	08:40	09:40	生物HL paper1	1時間00分	R7	D	F	
		09:00	09:10	09:55	生物SL paper1	0時間45分	PC3	E		
		10:30	10:40	12:55	生物HL paper2	2時間15分	R7	G	I	
		11:00	11:10	12:25	生物SL paper2	1時間15分	PC3	H		
10月31日(月)	午後	13:30	13:40	15:10	Mathematics SL Paper 1	1時間30分	R7	J	L	
		13:30	13:40	15:40	Mathematics HL Paper 1	2時間00分	PC3	K		
11月1日(火)	午前	09:00	09:10	10:40	Mathematics SL Paper 2	1時間30分	R7	F	N	
		09:00	09:10	11:10	Mathematics HL Paper 2	2時間00分	PC3	M		
11月2日(水)	午後	13:30	13:40	14:40	歴史HL/SL Paper 1	1時間00分	PC3	E	O	
		15:00	15:10	15:55	歴史HL/SL Paper 2	0時間45分	PC3	P	Q	
11月3日(祝)	午前	09:00	09:10	10:55	歴史HL Paper 3	1時間45分	PC3	O	H	
	午後	13:00	13:10	14:10	物理HL Paper1	1時間00分	PC3	N		
		15:00	15:10	17:25	物理HL Paper2	2時間15分	PC3	J		O
11月7日(月)	午後	13:30	13:40	15:55	English A HL Paper 1	2時間15分	DPC	J	K, B	
		13:30	13:40	14:55	English A SL Paper 1	1時間15分	R7	L		
		13:30	13:40	15:10	English B HL Paper 1	1時間30分	R6	R		
		13:30	13:40	14:55	English B SL Paper 1	1時間15分	PC3	S		
		15:50	16:00	17:00	English B HL Paper 2 (Reading)	1時間00分	R6	B		T
		15:50	16:00	17:00	English B SL Paper 2 (Reading)	1時間00分	PC3	I		
11月8日(火)	午前	09:00	09:10	09:55	English B SL Paper 2 (listening)	0時間45分	PC3	U	V	
		09:00	09:10	10:10	English B HL Paper 2 (listening)	1時間00分	R7	I		
	午後	13:30	13:40	14:40	Mathematics HL Paper 3	1時間00分	PC3	F	E	
11月9日(水)	午前	08:30	08:40	09:40	化学HL Paper 1	1時間00分	PC3	V	W	
		09:00	09:10	09:55	化学SL Paper 1	0時間45分	R7	E		
		10:30	10:40	12:55	化学HL Paper 2	2時間15分	PC3	O	X	
		11:00	11:10	12:25	化学SL Paper 2	1時間15分	R7	L		

表1 最終試験の監督表 (2022年)

4 IB 検査官による査察とフィードバック

最終試験期間中に IB 検査官による査察が行われ、多くの点において本校の取組みが IB の規準を完全に満たしていることが確認された。査察について事前の予告はなく、当日朝、本校に直接訪問して行われた。

<p>① 安全な保管</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験資材は、IB の要件に準拠した安全な保管庫で保管されている。 試験資材へのアクセスは厳しく制限されており、コーディネーターが鍵を所持する者を把握している。 残りの試験資材は、すべて未開封の状態での保管されている。 スキャンセンターへ送付予定の試験資材は、密封された封筒に入っている。
<p>② 試験の準備 (試験室および試験監督)</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験室内の壁や掲示板に受検者に有利になるような表示がない。大きな時計がすべての受検者が見えるよう置かれている。 机は筆記試験に適しており、受検者が他の受検者の答案を覗き見ることができない。 必要なポスターが適切に掲示されている。(「試験実施中、静粛に」「試験の実施：受検者への注意事項」「試験の実施：禁止事項」) 学校は十分な数の試験監督を配置している。各試験監督は十分に訓練を受け、試験中に行うべきことを理解している。

<p>③ 試験開始前</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・試験は IB の試験日程に従って正確に予定されている。 ・受検者が試験室へ持ち込む物品は、すべて、「試験実施要項」に記載されている内容に準拠している。 ・トイレに持ち込みが認められていない物品が置かれていないか確認している。
<p>④ 試験の開始</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・試験室へ静かに入室するよう、受検者に指示している。 ・試験室内で許されること、許されないことについて、受検者に明確に示している。 ・私物は部屋の外や後ろに置くよう、受検者に指示している。 ・受検者が持ち込みの認められていない物品を所持していないか確認している。 ・受検者の目の前で試験問題を開封している。 ・すべての受検者に見えるように試験の開始時刻と終了時刻が表示されている。 ・受検者に対して、正しい試験資材が配付されているか確認している。 ・受検者に、持ち込みの認められていない物品を申告する機会を与えている。
<p>⑤ 試験中</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・受検者に 5 分間の読時間を与えられている（多肢選択式の試験を除く）。 ・受検者に口頭で正しい指示を与えている。 ・試験監督が確認することができるよう、試験室に「試験実施要項」が置かれている。 ・受検者全員を見渡せる十分な人数の試験監督がおり、試験監督は試験時間中、終始受検者を監督している。 ・試験監督は試験室を定期的に巡回し、十分な注意を払っている。 ・試験監督は病気やトイレの使用などの特殊な事態を記録している。 ・受検者をトイレに案内するための適切な手配がなされている。 ・試験の最初の 1 時間と最後の 15 分間は、すべての受検者が試験会場に留まっている。 ・座席表が記録されている。
<p>⑥ 試験後</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・試験監督は、受検者に回答した問題などの情報をカバーシートに記入するよう指示している。 ・試験監督は、すべての試験問題、解答用紙、予備の解答用紙、グラフ用紙を回収している。 ・試験終了後、受検者の机上にはいかなる資材も残されていない。 ・試験監督は、試験室を出る前に受検者のカバーシート、解答用紙をプラスチック製の封筒に入れ、コーディネーターの監督のもと、安全な場所で封筒を封印している。

なお、以下の 3 つの点において、IB 検査官よりさらなる改善を指摘された。

- 生徒が試験会場へ入室する際に、一人ずつ時間をかけて所持品を確認すること。
- トイレに持ち込みの認められていない物品が置かれていないかの確認は、1 日 1 回だけでなく、各試験の開始前に実施すること。
- 辞書の持ち込みが認められている試験については、学校が購入した辞書をその場で貸し出すなど、辞書に不正がないことを担保すること。

5 今後の課題

各試験監督は、監督する試験の形態が「解答欄なし」「解答欄あり」「解答欄あり＋冊子」「選択式」という4種類のうちどれになるのかを把握するために、「試験実施要項」を参照する必要があり、確認に時間を要していた。この試験形態に関する情報を試験監督表に掲載することで、より迅速に試験の形態を把握することが可能になると考えられる。

また、English AおよびEnglish BのHL、SLに対するペーパー1の試験では、同時に4つの試験室を使用する状況で試験を実施したが、試験監督の確保が困難であった。SLの受検者を教室の前方に配置し、HLの受検者を教室の後方に配置するなどの工夫により、4つの試験室を2つに統合して試験を実施することが可能である。次年度は、MOCK②でこの案を試行し、実施に向けた留意点と試験監督の指示について整理を行いたい。

なお、IB検査官より指摘を受けた辞書に関する不正の防止については、25名分の辞書を学校で購入し、試験資材と同様に保管庫で管理することを検討したい。